✧ 海外ニュース ✧

イタリア 2025年1月5日 II Fatto Quotidiano.it

■ 道路の通行料について、道路建設会社にとって別の恩恵：道路運営会社アウトブレンネロ社の更新事業への特別競合事案

Dopo i pedaggi, altro regalo ai concessionari: una gara speciale per il rinnovo di Autobrennero

インフレ対策としてイタリア政府は、全ての行政関連料金を一定に抑える必要があったが、アウトストラデー・イタリア社に対しては1.8%の値上げを承認した。同社は単独で道路ネットワークの半分に相当する2,800kmを開発しており、23社に達する全ての道路建設会社の交通量の60%を担った。インフラ大臣のマッテオ・サルヴィーニ氏は、入札競合においてアウトブレンネロ社の現経営者らが、10年前から失効している入札事案を更新する権利を獲得できるように配慮すると述べている。

米国 2025年1月6日 ITS International

■ インフラ改善により地域を再接続

Reconnecting communities with infrastructure improvements

車道で分断された米国の地域を再接続するための何百ものプロジェクトが2025年に開始される。マサチューセッツ州では見積もり費用13億ドルの大規模複合プロジェクトが開始される。コロラド州デンバーのプロジェクトでは、車道が改善されグローブビルとイリーリア＝スワンシー近隣が再接続されるが、これらはこのマイル・ハイ・シティー（デンバー）で最もサービスを受けられていない地域の一部にあたる。中央オハイオ交通局は高速バス輸送システムを開発中であり、これによりコロンバスのダウンタウンとプレーリー・タウンシップ近隣が接続されることになる。

スペイン 2025年1月7日 Ministerio

■ スペイン運輸局は、バイレンの高速道路 A-4 と A-44 の間にあるジャンクションの補修計画を入札にかけた

Transportes licita el proyecto de remodelación del enlace entre las autovías A-4 y A-44, en Bailén

今回の工事の入札価格は90万9,862ユーロで、このジャンクションにおける道路の移動利便性と安全を向上させ、現在の交通渋滞を緩和するのが目的である。工事の予定価格は1,550万ユーロで、公示は次回の官報にて行われる。この工事では、2車線の支線が2本の高速道路を連結することになり、コルドバからの通行車両が合流する地点で3車線となり、A-4の288km地点にあるジャンクションを通り過ぎるまで、3車線が続くことになる。

スペイン 2025年1月7日 Ministerio

■ スペイン運輸局は、アルコルコンとマドリッド間の高速道路 A-5 において、安全性の向上と公共交通の活発化のためのプロジェクトを528万ユーロで入札にかけた

Transportes licita por 5,28 millones de euros el proyecto para mejorar la seguridad y fomentar el transporte público en la A-5, entre Alcorcón y Madrid

今回の工事の予算は1億3,200万ユーロと見積もりされ、同工事により高速道路 A-5 の9km地点から14.2kmのアルコルコンまで、M-40との連結における問題を解決することになる。運輸・持続可能な交通省は、付加価値税を含む528万ユーロで入札契約を行い、車道の修繕と道路安全の改善工事と公共交通プロジェクトを実施するための契約を締結した。これらの工事には高速道路 A-5、M-40 および A-5R の間にあるジャンクションの機能性を向上させる目的もある。

オーストラリア 2025年1月7日 Roads & Infrastructure

■ クイーンズランド州のブルース・ハイウェイの安全性格付けを上げるため新規資金提供として72億ドル

\$7.2 billion in new funding to raise Queensland's Bruce Highway safety rating

オーストラリア政府はクイーンズランド州のブルース・ハイウェイを少なくとも3つ星安全格付けに上げるた

め、改修、修復のための追加の72億ドルを提供することになる。この資金提供はブルース・ハイウェイへの単独最大投資となり、これによりオーストラリア政府のこの道路への総支出が170億ドル超となる。同州住民と主な利害関係者たちは、この道路を修復するためのさらなる投資と長期計画を求めていた。ブルース・ハイウェイは、平均死亡・重傷衝突率がニュー・サウス・ウェールズ州とビクトリア州の主要道路に比べ3～5倍高い。

英国 2025年1月9日 Highwaysindustry.com

■ リフロー社：なぜ道路で作業者の安全が今なお問題なのか？

Re-flow — Why is worker safety still an issue in highways?

アンティシペート・ロンドン24において、下記のトピック（作業場での健康、安全、福祉、火災安全、セキュリティ）を含めた安全文化のイノベーションが考察された。ロザリオ博士の話では、安全に関する思考の転換が促されている。ポイントは以下のとおりである。安全は文化の一部であり、最高レベルから順に重要性を示す必要がある。データの測定と追跡が安全に不可欠である。リーダーはチームの異なるメンバーに安全責任を負う権限を与えなければならない。文化における小さな変化が将来の健康・安全基準の大きな転換につながる。興味、好奇心、情熱の向上によりスタッフの理解が深まる。

英国 2025年1月9日 Highways News

■ ノーフォーク州が地域で最高の道路整備資金配分を受け取る予定

Norfolk set to receive highest highways maintenance allocation in the region

ノーフォーク州は、発表された政府の資金提供により、来年の道路整備のため5,600万ポンド超を受け取る予定である。政府は英国の全ての地方自治体への資金配分を発表したが、これは2025～26年の間に修理の必要な道路で、地域のため緊急処置を提供し、国内のあらゆる地域で生活水準を引き上げるために使用することができる。このニュースは、道路と輸送に関するナショナル・ハイウェイズ・アンド・トランスポートの調査で、同州が2年連続でトップを取った数週間後に報じられた。同州に対し州の人々が道路状態に満足し、最高（平均以上の）得点を与えている。

ドイツ 2025年1月10日 Spiegel

■ ベルリンで高速道路の照明を消灯

Autobahnen in Berlin werden dunkel

ベルリンでは高速道路上の照明を順次消灯する作業が進められており、4月末までに全ての照明を消す予定である。高速道路の管理運営を行うアウトバーン社北東部事業所の説明によれば、照明がある方が安全だと考える人は多いが、実際には事故の発生に影響しないという。さらに近年は路上の設備、特に反射材を使った誘導標等が最新のものに交換されている上、現代の自動車は強力なライトを備えている。また照明を使わないことでCO₂排出も削減でき、光害対策にもなるほか、コストも節約できる、というのが照明廃止の理由である。トンネル内と高速道路の出入り口付近のみは例外とされた。ドイツ全土でも、照明の点灯している高速道路は非常に少ない。

オーストリア 2025年1月13日 Verkehrsrundschau

■ オーストリアでトラックの高速道路通行料引き上げ

Lkw-Maut in Österreich gestiegen

オーストリアでは2025年1月からトラック等を対象に高速道路通行料金が引き上げられた。通行料金を構成する各要素のうち、一般インフラコスト、指定高速道路（A13号線やA10号線など）の特定区間のみで加算される区間インフラコスト分のほか、CO₂排出クラス5（電気自動車や水素自動車）を除き、CO₂排出コスト分も引き上げられた。これに対して大気汚染コスト部分（トラックの有害物質排出クラスと軸数によって異なる）は据え置きとされた。この改定により、たとえばCO₂排出クラスが5以下の3軸トラックの場合、2025年からは通行料金のうちインフラコスト分は通常30.60セントで、2024年の28.42セントから2.18セントの引き上げとなった。A13号線等の特定区間を走行した場合はさらに料金が加算される。

オーストリア 2025年1月20日 Global Highways

■ オーストリアでやりがいのある道路橋の建て替え

Austria's challenging highway bridge replacement

請負業者であるボル社およびストラバック社は、オーストリアでやりがいのある道路橋の建て替えプロジェクトを実行すべくチームを組んでいる。両社はオーストリアの風光明媚なチロル地区に建つルエグ橋を解体し、新規の改良された構造物に建て替えることになる。1.8kmのルエグ橋は混雑するA13ブレナー・ハイウェイの一部である。1日あたり約32,000台の車両が通過するこの橋は、現在築55年でその複雑な構造が設計寿命の終わりを迎えており、対応すべき交通量にもはや対応できていない。現在この橋では一車線通行が強いられているが、建設工事が間もなく開始される予定である。

ドイツ 2025年1月20日 BMDV

■ 連邦交通大臣がランダウでPfalzwerk AG社の高速充電ステーション開業式に出席

Bundesminister eröffnet Schnellladepark der Pfalzwerke AG in Landau

ヴィッシング連邦デジタル交通大臣は2025年1月、ドイツ南西部ランダウにPfalzwerk AG社が建設した充電ステーションの開業式に出席した。B10号線沿線の同ステーションには、4台のバリアフリー高速充電スタンドに合計8基の充電ポイントが設置された。このステーションは連邦デジタル交通省（BMDV）が全土で実施する充電設備拡充計画「Deutschlandnetz」の一環として建設されたものである。計画は予算23億ユーロを投じ全国1,000カ所以上で合計9,000基の高速充電ポイントを設置するもので、充電インフラ関連ではBMDV最大のプロジェクトである。CCS規格に準拠した充電能力200kW以上の充電インフラを国内にくまなく設置することを目指す。設備の設置および運営はBMDVから委託を受けた民間業者が行う。

オーストラリア 2025年1月23日 Roads & Infrastructure

■ 2億8,000万ドルのプロスペクト・ハイウェイ改修が完了

\$280M Prospect Highway upgrade now open

ニュー・サウス・ウェールズ州、プロスペクト・ハイウェイへの2億8,000万ドルの改修が現在完了している。西シドニーからM4高速道路、グレート・ウェスタン・ハイウェイ、オールド・ウィンザー・ロード、M2高速道路につながるハイウェイが開通していることになる。このルートを利用する1日あたり35,000台の車、5,000台のトラックにとって、このハイウェイは評判の悪い交通渋滞箇所となっていた。3.6kmの改修によりセント・マーチンズ・クレセント～ブラックタウン・ロード間に6車線、ブラックタウン・ロード～レザボアー・ロード間に4車線がもたらされる。

イタリア 2025年1月30日 Il Fatto Quotidiano.it

■ メッシーナ海峡大橋について、シチリア高速道路運営会社の代表が警鐘を鳴らす：「老朽化する道路について、業務に従事するトラック200台を毎日通過させるのは異常なことである」

Ponte sullo Stretto, l'allarme del capo delle autostrade siciliane: 'Sono fatiscenti, follia far passare 200 camion al giorno per i lavori'

シチリア高速道路連合体であるCasの役員はメッシーナの公聴会で「このような事態は、道路利用者の安全を危険にさらす」と述べた。これは、シチリア高速道路の老朽化について述べたもので、メッシーナ海峡大橋のみならず、シチリア高速道路についても大規模な修繕が必要であるという認識に基づいている。高速道路は一部区間の工事中につき、通行料金を徴収しない方策が取られているが、道路の維持と保守のためには、通行料金の徴収が必要であると言われている。メッシーナ海峡大橋の工事のために重量車両がシチリア高速道路を利用するため、なおさら通行料金を徴収する必要があるという趣旨である。

英国 2025年1月30日 Highways News

■ ウィルトシャー州がA361号線の安全性向上プロジェクトの計画を発表

Wiltshire announces planning project to improve safety on the A361

ウィルトシャー州議会は、ディバイザス、カーン・ヒルのA361号線の道路安全性向上計画に取り組んでいる。このプロジェクトの主な焦点はB3101マーシュ・レーン（ロウデ行き）とポールショット・ロードのくい違い

交差点における信号機設置を確認することである。信号はセンサーで制御されることとなり、この交差点に車両がない場合 A361 号線沿いの交通は制限されず流動可能となる。信号機の他にも、このプロジェクトには最終設計プロセスを経た上で道路安全性を向上するさまざまな重要改善点が含まれる。例えば、中央分離帯付き道路中央の安全バリアの設置が挙げられる。

フランス 2025 年 1 月 30 日 VINCI Autoroutes

■ 高速道路 A8：マントンで開通した新しい連絡道路

Autoroute A8 : la nouvelle bretelle d'insertion inaugurée à Menton

2025 年 1 月 30 日（木）にマントンで、新しいインターチェンジ連絡道路が開通した。これにより、さらなる渋滞緩和、安心、安全な状態で高速道路に進入するための 300m 以上の連絡道路がお目見えする。この迂回道路と複雑な工事作業は、斜面からなる地形において実施される。元々の迂回道路は 90m であったが、その長さでは、交通量の増加には対応できなかった。それを 300m 以上にすることで、スムーズに高速道路 A8 に入ることができるようになる。

フランス 2025 年 1 月 30 日 VINCI Autoroutes

■ 高速道路 A10 で「車を運転中に電気充電する」：運行テスト前の最終段階！

《Charge as you drive》sur l'A10 : dernière phase avant les tests de roulage !

高速道路 A10 で、誘導コイルを用いて、車両が走行中に行う動的電気充電の実験が新しいステージへと進んだ。2025 年 1 月 6 日から誘導コイルが車道に設置され、車両を用いた運行テスト前の決定的段階へと移行した。閉鎖的環境の中で行われた実験テストおよび大規模実験を経過して、「車を運転中に電気充電する」試行は、最終段階に入った。この実験は、フランスのエソンヌ州のアンジェルヴィリエ市で、高速道路 A10 の 1.5km 地点の区間で実施された。

米国 2025 年 1 月 31 日 Roads&Bridges

■ ステファーズ大学が道路建設トレーニングを拡大

Stephens College to Expand Highway Construction Training

ステファーズ大学は、連邦道路管理局を通じた道路建設トレーニングプログラム補助金の 16 の受領団体の 1 つである。この補助金により、道路建設トレーニング構想を拡大するための同大学の女性職人建設事前見習いプログラムに 30 万ドルが与えられることになる。昨年同大学のテイラー氏により設立されたこのプログラムは、教室での授業と有給トレーニングを組み合わせ建設業界の女性を支援するというものである。またこのプログラムは技能職における女性代表を増やしつつ労働力不足にも対処することを目指している。女性は現在米国の建設作業要員の 11% 未満にとどまっている。

英国 2025 年 1 月 31 日 Highways News

■ レディング最大の道路改善計画の次期段階が開始予定

Next phase of Reading's biggest road improvement programme set to begin

議会が新たな路面に過去最高の投資を続ける中、今後 10 週間にわたりレディングで 100 を超える生活道路が再舗装される。議会は今年再舗装改善がなされる 64 の主要道路を承認済みであるが、日付については確認中である。それらは 400 万ポンドの主要道路計画の下で完成されるが、同計画は議会によるレディング全体の包括的
道路改善に対する計 800 万ポンドの公約の一部をなすものである。道路改善のための議会公約は、例えば、市民から報告されたくばみの件数が 39% 減少（2021～22 年の 1,913 個から 2023～24 年の 1,168 個）といった成果を既にもたらししている。